

2024 年 8 月 7 日

当院の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 当院における後腹膜腫瘍手術症例調査 」 への協力の お願い

整形外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 30 日の間に、当院において、後腹膜腫瘍に対する手術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：後腹膜腫瘍は後腹膜領域に発生する腫瘍の総称です。治療は外科的手術が基本であり、特に悪性腫瘍の場合、消化管や肝臓、腎臓といった臓器の合併切除を要することも多く、外科、泌尿器科、婦人科の合同手術となることが多いです。また、肉腫を多く扱うことの多い整形外科も治療に携わることもあります。非常に稀な疾患であるにも関わらず、多科での合同治療が必要であることも多いため、全国のがん治療施設において後腹膜腫瘍カンファレンスが開催されたり、サルコーマ（肉腫）センターが設立されています。当院ではそのような体制がないことより、本研究では、後腹膜腫瘍に対して実際に行われている治療およびその成績を調査し、問題点を明らかにすることを目的として行います。

研究に用いる情報の項目：診療録より収集された、性別、年齢、病名、手術日、手術時間、出血量、手術以外の治療、担当科、予後についての情報。これらは全て日常診療で実施された項目です。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2024 年 8 月 10 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 整形外科

氏名：永野昭仁

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 整形外科

電話番号：058-230-6333

氏名：永野昭仁

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp